



# タイワ HRS 事業協同組合のガイド



## 1. 監理団体とは？

- 監理団体は、技能実習生の受け入れから監理までを企業に代わって行う組織です。
- 技能実習生の入国時に実習生に対して行う座学の講習や、受入先での訪問指導・監査などを行うことで、技能実習生や受入先のサポートを行うことを主務大臣から許可された非営利法人です。

## 2. 外国人技能実習生を受け入れのメリット

- 若くて、やる気をもっている技能実習生が多い。集まりにくい職種にも人気がある。日本という国で働きたいというモチベーションで在留している外国人技能実習生もいるため、例えば人の集まりにくい職種でも人材を雇用することが可能です。また、留学生など留学期間を終えて帰国する際に後任の外国人技能実習生を見つけられるメリットもあります。
- さまざまな価値観や視点で社内が活性化する。外国人技能実習生を受け入れることで、多様な価値観や視点を社内に呼び込むこと（ダイバーシティ）経営につながり、新しいアイデアの創出ができ、社内がグローバル化することにつながります。そして、外国人技能実習生を受け入れると会社の人材力が強化されます。

## 3. 外国人技能実習生の受け入れ方式

- タイワ HRS 事業協同組合の組合員（実習実施者）に加入すること。
- 求人票を作成、監理団体に提出する。
- 監理団体は、外国の送り出し機関と協定を結び、やり取りをします、海外で技能実習生を募集し、技能実習生を必要としている日本企業と合致した場合、送り出し機関は、契約をしている日本の監理団体に技能実習生を送り出します。

#### **4. 組合員のメリット**

- 組合の組合員は様々な業種で運営しており、情報を交換できますので実習実施者の事業にも貢献する可能性があります。
- 組合員として外国人技能実習生を受け入れる際は当組合がしっかりサポートさせて頂き、問題が発生すればすぐ対応出来ます。企業様の事業も円滑に運営できるようになります。

#### **5. 外国人材との今後の行方**

- 実習期間を終えた技能実習生は、母国に帰国し、国のために社会貢献することが出来ます。
- 受け入れた実習実施者（組合員）は、海外人材を受け入れた事により、今後、技能実習生の母国とのつながりが持て、海外進出への足がかり、きっかけにつながります。
- 国際平和につながる外国人技能実習生の受け入れ事業を行う事で、人材育成、会社発展、社会貢献につながります。

タイワ HRS 事業協同組合は全国の会社を  
しっかりとサポートし、地域と国の発展に  
つながる事業に貢献しております。

---